

第1日目 11月14日（金）

学術大会会場（九州大学医学部 百年講堂 大ホール）

10:50～11:00 開会式

挨拶

大会長 中川原 章（佐賀国際重粒子がん治療財団名誉理事長）

九州大学総長代理 白谷 正治（九州大学高等研究院長）

11:00～11:50 招待講演

座長：中川原 章（佐賀国際重粒子がん治療財団）

細胞小器官ペルオキシソームの形成機構と欠損症研究: オルガネラ欠損病概念の確立

藤木 幸夫（九州大学高等研究院特別主幹教授・名誉教授
兵庫県立大学大学院理学研究科 特任教授）

12:00～12:50 ランチョンセミナー 1 (TAE Life Sciences, RadioNano Therapeutics株式会社)

座長：益谷 美都子（長崎大学医歯薬総合研究科）

The newly developed Alpha-Beam neutron accelerator system by TAE Life Sciences along with next generation boron delivery drugs being developed at TAE Life Sciences brings a new dawn for BNCT
Kendall Morrison（TAE Life Sciences社 Chief Scientific Officer）

分子からナノ粒子へ：BNCTのパラダイムシフト

小松 直樹（京都大学大学院人間・環境学研究科教授）

13:00～13:30 特別講演 1

座長：古閑 一憲（九州大学プラズマ工学研究室）

物質の第4状態”プラズマ”が拓くテクノロジー：宇宙・医療・半導体

白谷 正治（九州大学高等研究院長）

13:30～15:00 シンポジウム1 量子コンピューターと生成AI

座長：井上 弘士（九州大学 大学院システム情報科学研究院 情報知能工学部門）

誤り耐性量子計算機の設計と開発

鈴木 泰成（理化学研究所量子コンピュータ研究センター）

国産量子コンピュータの整備・運用

根来 誠（大阪大学量子情報・量子生命研究センター）

生成AIによる感情認識・カウンセリング

井上 昂治（京都大学 情報学研究科）

15:15～17:00 シンポジウム2 宇宙と物理・化学・生物・医学

座長：東 俊行（理化学研究所 東原子分子物理研究室）

内堀 幸夫（QST放射線医学研究所）

国際宇宙ステーション搭載CALETによる宇宙線観測と宇宙天気予報

片岡 龍峰（沖縄科学技術大学院大学 サイエンス＆テクノロジーグループ）

化学で探る生命の起源と地球外生命

小林 憲正（横浜国立大学名誉教授・東京科学大学理学院特別研究員）

深宇宙有人滞在に向けた個人被ばく線量計測の取り組み

小平 聡（QST放射線医学研究所計測・線量評価部）

宇宙放射線の生物・医学研究～過去・未来～

高橋 昭久（群馬大学重粒子線医学研究センター）

17:00～18:00 ポスターセッション

18:30～20:00 情報交換会



<https://www.ishikura-shuzou.co.jp/>

※学会会場から情報交換会会場まではバスでの送迎となります。

第2日目 11月15日（土）

学術大会会場（九州大学医学部 百年講堂 大ホール）

08:30～09:45 シンポジウム3 放射線による高精度な制癌を目指した最新生物研究

座長：平山 亮一（QST QST病院重粒子線治療研究部）

マイクロビーム放射線療法の抗がん効果を細胞間クロストークから紐解く —X線から重粒子線への期待—

小嶋 光明（大分県立看護科学大学看護学部）

次世代重粒子線がん治療の確立を目指して

下川 卓志（QST量子医科学研究所物理工学部）

BNCTのバイオロジーとバイオマーカー研究

益谷 美都子（長崎大学医歯薬学総合研究科）

10:00～11:30 シンポジウム4 日本の量子医療と世界戦略

座長：塩山 善之（九州国際重粒子がん治療センター）

日本における陽子線治療の現状と将来展望

水本 斉志（筑波大学放射線腫瘍科）

BNCT（ホウ素中性子捕捉療法）の現状と将来展望

二瓶 圭二（大阪医科薬科大学放射線腫瘍学）

重粒子線治療の現状と今後の展望

小藤 昌志（山形大学医学部放射線医学講座放射線腫瘍学分野）

核医学治療の最前線：多様化する標的と治療戦略

廣正 智（金沢大学医薬保健研究域核医学）

QSTにおける研究開発と将来展望

石川 仁（QST QST病院）

11:30～12:00 特別講演2

座長：櫻井 英幸（筑波大学放射線腫瘍科）

日本量子医科学会の課題と期待

中野 隆史（QST量子医科学研究所QSTアソシエイト）

12:00～12:45 ランチョンセミナー2（アマゾンウェブサービスジャパン合同会社）

座長：白井 敏之（量子医科学技術研究開発機構）

ライフサイエンス×医療における生成AI革命 ～AWS活用による研究開発の加速と診療支援の高度化～

松永 徹人（アマゾンウェブサービスジャパン合同会社）

13:00～14:30 一般講演

座長：沖本 智昭（兵庫県立粒子線医療センター）

高井 伸彦（長崎国際大学）

日本の粒子線治療施設を存続されるための課題と対策

沖本 智昭（兵庫県立粒子線医療センター）

肺がんに対するオフライン適応重粒子線治療の累積線量解析

酒井 真理（九州大学大学院医学研究院）

Development and verification of smart Nanofiber mesh for synergistic combination therapy against refractory glioblastoma

Muyasha Abulimiti（筑波大学附属病院）

放射線作用に着目した新規放射線治療へのアプローチ

平山 亮一（QST QST病院重粒子線治療研究部）

新規BPA類似体を用いたBNCTは抗PD-1抗体併用で効果増強される

池浦 真希（TAE Life Sciences）

14:45～15:15 特別講演 3

座長：石神 康生（九州大学臨床放射線科学分野）

ゴジラとともにシン化する放射線生物学

松本 義久（東京科学大学 総合研究院 ゼロカーボンエネルギー研究所教授）

15:15～16:45 シンポジウム 5 プラズマ医療&農業の未来

座長：白谷 正治（九州大学高等研究院）

大気圧非平衡プラズマとプラズマ農業

古閑 一憲（九州大学プラズマ工学研究室）

低温プラズマの生物作用を理解するための鉄・フェロトーシス・がん

豊國 伸哉（名古屋大学医学系研究科生体反応病理学）

低温プラズマの医療応用に向けた展望と課題

梶山 広明（名古屋大学大学院医学系研究科産婦人科学）

16:45～17:00 閉会式

挨拶

櫻井 英幸（一般社団法人日本量子医科学会理事長）

松本 義久（日本量子医科学会第6回学術大会大会長）